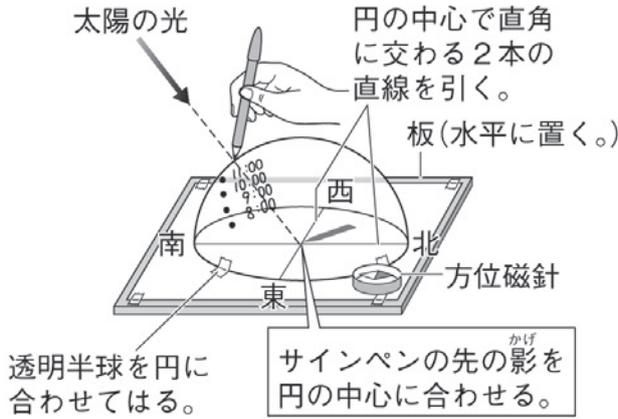


# 天体の1日の動き(2)

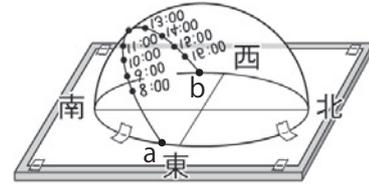
名前

下の図のようにして、<sup>どうめい</sup>透明半球を使った太陽の観測をおこなった。以下の問いに答えなさい。

①透明半球を東西南北を合わせて固定し、太陽の位置を記録する。



②記録した点をなめらかな曲線で結び、透明半球のふちまでのばす。



③②の曲線に沿ってビニルテープをあて、記録をうつしとる。

(1) この実験では透明半球を何に見立てているか。正しいものを次のア～ウから選んで記号を書きなさい。

- ア) 太陽系                      イ) 地球                      ウ) 天球

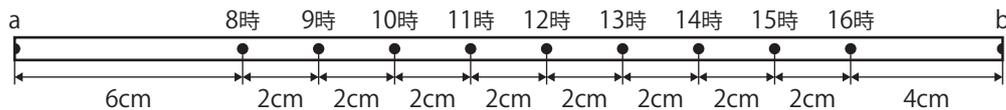
(2) ①でサインペンの先の影を円の中心に合わせるのはどうしてか。正しいものを次のエ～カから選んで記号を書きなさい。

- エ) 時刻によって影の長さが変わるのを観測するため。  
 オ) 時刻によって影の向きが変わるのを観測するため。  
 カ) 大型の透明半球の中心に立って内側から太陽の位置を記録するのと同じにするため。

(3) ②でかいた曲線が透明半球のふちに接する点を a、b とする。a、b はそれぞれどのような時刻の太陽の位置を表しているか、正しいものを次のキ～ケから選んで記号を書きなさい。

- キ) 12時頃                      ク) 日の出頃                      ケ) 日の入り頃

(4) ③でビニルテープに記録をうつしとると、下の図のように1時間ごとの<sup>かんかく</sup>間隔が等しかった。このことから太陽の動く速さがどのようであると考えられるか。



(5) (4) の図から、日の出と日の入りが何時頃だったと考えられるか、それぞれの時刻を求めなさい。

(1)	ウ	(2)	カ	(3)	a	ク	b	ケ
(4)	一定(である)			(5)	日の出	5時	日の入り	18時